

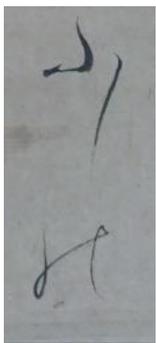
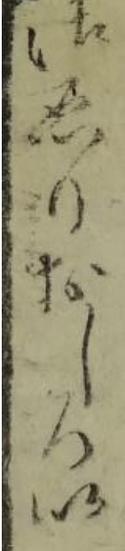
郷土資料館では、令和2年度から始めた「Web で古文書講座」で、「三咲の掛け軸」と「紫檀飾棚の中に！」と題した2回分のテキストと動画を配信しています。今回は、くずし字読解能力を、より確かなものにしていただくために、確認テストを用意しました。

問題に挑んで、力試しをしても良いですし、5ページからの解説を読んで学習するのも良いでしょう。問題は10問です。写真は、過去のテキストの一部ですので、2回分のテキストや動画と照らし合わせながら、10問の問題に取り組んでください。

第1問：写真のくずし字を、現代のひらがな5文字に置き換えましょう。

写真	解答欄	写真の出典：「三咲の掛け軸」
		<p>ヒント</p> <p>「五七五七七」の短歌のうち、最初の「五」です。 わからない場合は、①②どちらかの方法を試すと、少し読みやすくなるかも知れません。</p> <p>① 確実にわかる文字を見つけ、その文字だけでも書く。 ② 左の写真を5文字に区切ってから、①と同様に、読めそうな文字がないか考える。</p>
		<p>上級者の方へ</p> <p>辞典を使って構いませんので、5文字全てを現代の文字に置き換えてみましょう！</p>

第2問：写真①②の両方に使われているひらがな1文字は何でしょう？

写真①	写真②	解答欄	写真の出典：①「三咲の掛け軸」 ②「紫檀飾棚の中に！」
		<p>ヒント</p> <p>①は、短歌の上の句の「七」の一部で、ひらがな3文字が書かれています。②は、小間物屋で売られていた商品の種類で、1文字目が漢字、2～7文字目がひらがなです。 どのくずし字が共通しているかわかったとしても、その字に該当するひらがなを、すぐ考えつかないかも知れません。 写真②を見て、女性が化粧等に使う商品名は何だろう？と考えると、そのひらがなを予想しやすくなるはずです。</p>	
		<p>上級者の方へ</p> <p>辞典を使って構いませんので、写真①②の文字を全て、現代の文字に置き換えてみましょう！</p>	

第3問：下の2つの写真に、ともに使われているひらがな1文字は何でしょう？

写真①	写真②	解答欄	写真の出典：①「三咲の掛け軸」 ②「紫檀飾棚の中に！」
		<p>ヒント</p> <p>写真①は、短歌の下の句の最後の「七」のうちの一部です。 写真②は、小間物屋で売られていた商品の種類です。 第2問と異なり、同じ音（読み方）ですが違う字体（変体仮名）が使われています。</p>	
		<p>上級者の方へ</p> <p>第2問と同じように、全ての文字を現代の文字に置き換えてみましょう。</p>	

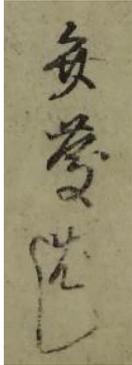
第4問：写真①～④の偏は、3つが同じで1つだけ違います。違うものはどれでしょう？

写真①	写真②	写真③	写真④	写真の出典：①「三咲の掛け軸」 ②「紫檀飾棚の中に！」
<p>解答欄</p> <p>違う偏（へん）の写真番号は…</p>				<p>上級者向け解答欄</p> <p>（空欄に偏の名前を書いてください）</p> <p>3文字は _____</p> <p>1文字は _____</p>

第5問：写真の3文字を、何人もの船橋市民が、同じように読み間違えてしまいました。どのように読み間違える市民が多かったのでしょうか？

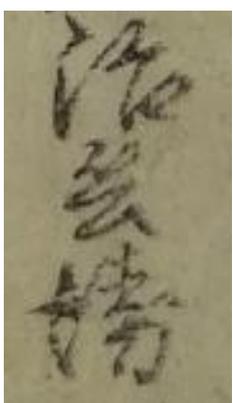
写真	写真の出典：「三咲の掛け軸」	
	<p>ヒント</p> <p>いずれも、3文字目をひらがなではなく漢字とってしまったための間違いです。 船橋市民以外だと、その3文字からなる固有名詞を考え付かないかも知れません</p>	<p>解答欄</p> <p>読み間違えたのは…</p>
		<p>上級者向け解答欄</p> <p>正解は…</p>

第6問：写真の4文字は地名です。3文字目（濁音）の読みは何でしょう？

写真	解答欄	写真の出典：「紫檀飾棚の中に！」
		<p>ヒント 上の2文字は漢字で、歴史上の有名な人物の名前です。4文字目は、のれんや看板などで見たことがあるかも知れません。</p> <p>上級者の方へ 辞典を使って構いませんので、全ての文字を、現代の文字に置き換えてみましょう！</p>

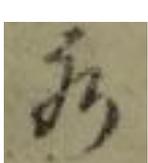
第7問：写真は、資料の中の人名部分です。

選択肢のうち、一番多くの文字を解読できているものに丸をつけてください。

写真	解答欄	写真の出典：「紫檀飾棚の中に！」
	<ul style="list-style-type: none"> • <input type="checkbox"/> 左衛門 • <input type="checkbox"/> 右衛門 • <input type="checkbox"/> 兵衛 • <input type="checkbox"/> 五郎 • えつ • とみ 	<p>ヒント わからないという場合は、①②どちらかの方法を試してみると、少し読みやすくなるかも知れません。</p> <p>① 文字数を考える。 ② 漢字・ひらがな、どちらなのか考える。</p> <p>上級者の方へ 全ての文字を解読してください。</p>

※ 次の問題は難しいので、わからなかったら、次の問題に進んで構いません。

第8問：写真の漢字1文字は、何という字でしょう？

写真	(上級者向け) 解答欄	写真の出典：「紫檀飾棚の中に！」
		<p>ヒント この漢字の典型的なくずし方ですが、1文字だけ見ているよりも、熟語や文章の中で見た方がわかりやすいはずです。 「紫檀飾棚の中に！」のテキストや動画を見て、似ている形の字を探してみてください。</p>

※ ここからの問題の写真は、「Web で古文書講座」で使用した資料の写真ではありません。
しかし、「紫檀飾棚の中に！」で使用した資料と近い内容の資料（小間物屋の袋）です。
きっと読める字があるはずですから、取り組んでいただくと嬉しいです。

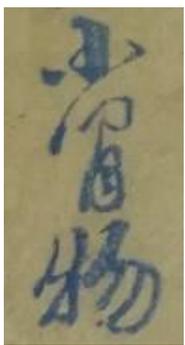
※ 全体の写真は 7 ページにあります。

第 9 問：写真の 4 文字はいずれも漢字で、2 文字ずつ熟語に分かれます。

読める文字を、1 文字でも 2 文字でも構わないので書いてください。

写真	解答欄	ヒント
		<p>ヒント</p> <p>1 文字目と 3 文字目は同じ文字です。 2 文字目は、第 6 問と同じ文字です。 4 文字目は、第 4 問の写真の中に同じ文字があります。</p> <hr/> <p>上級者の方へ</p> <p>辞典を使って構いませんので、5 文字全て、現代の文字に置き換えてみましょう！</p>

第 10 問：写真の文字を、現代の文字に置き換えてください。

写真	解答欄	ヒント
		<p>ヒント</p> <p>「紫檀飾棚の中に！」のテキストや動画に登場する熟語です。</p>

解答と解説

問題番号	解答	解説
1	よもすから	<p>この場合、「か」は濁音の「が」と発音します。</p> <p>「夜もすから」は、一晩中・夜通しなどと訳します。</p> <p>濁音になるかならないかの判断は文脈次第です。資料集や展示図録などを読み、昔の言葉に少しでも親しんでおくと、くずし字が読みやすくなります。</p>
2	し	<p>①「ふしの」、②「御糸りおしろい」です。</p> <p>①は、文脈から「し」を「じ」と発音し、「富士の」の意味だと理解します。「し」は、現代の「し」のように丸まらないで、次の文字の方向に流れていく（少し左に膨らんで下に向かう）ことがあります。写真②の「御」「い（以）」は、古文書によく使われている文字の典型的なくずし方ですから、これらの形も気に留めておくと良いでしょう。</p>
3	か	<p>①「月かけ」（月影）、②「御銀かんざし」です。</p> <p>①の2文字目が「閑」、②の3文字目が「加」で、ともにひらがなの「か」として使う漢字です。「三咲の掛け軸」の「変体仮名」に関する説明を、もう一度確認してください。</p>
4	④	<p>①「消」、②「清」、③「油」、④「銀」です。</p> <p>上級者向け解答は、3文字がさんずい、1文字がかね（金）へんです。かねへんの特徴は、真ん中あたりで筆がくるりと回る（円形ができる）ことです。へん（字の左側）の中央に円形がある場合、かねへんやいたる（至）へんの可能性を予想すると、字の候補を絞りやすくなります。</p>
5	読み間違えたのは「高根小」	<p>正しい読み方（上級者向け解答）は、「高根に」です。</p> <p>ひらがなが多い資料だったので、「高根」が目について、その下の字を含めて船橋市立高根小学校を連想したのでしょう。</p> <p>写真の3文字目は、筆の始点から右上に少し上がっているので、「小」の典型的なくずし方とは少し違うように思えますが、ひらがなの「に」として使われる「尔」と「小」が似ているのは確かです。</p> <p>間違えたとがっかりするのではなく、「に」と「小」は似ている。「小」みたいに見えるひらがなは「に」だ！などと記憶に残る間違え方ができれば、効果的な学習ができた満足して良いです。</p>
6	ば	<p>「弁慶ばし」と読みます。</p> <p>今回のテストで何度も出ている「し」は読めましたか？</p> <p>3文字目の右側に濁音が見えるので、現代の文字に置き換える場合、「は」ではなく「ば」と書きます。</p>

		「は」は、助詞として使われるので、古文書によく登場します。「は」「え」「て」「と」「も」などのくずし方を辞書などで確認したり、博物館の図録などで確認すると、古文書が少し読みやすくなるはずです。
7	口兵衛	「治兵衛」です。 江戸時代の人名は、今よりも種類が豊富ではないので、兵衛・左衛門・右衛門などが読めるようになると、かなり人名を読めるようになります。郷土資料館の学芸員は、大学生の時に、本に載っている古文書の写真を見て、人名部分だけを比較して覚ええました。
8	水	この字だけを見て、自信を持って「水」だと判断できる人は少ないはずですから、わからなくても気にする必要はありません。 ちなみに、郷土資料館の職員（学芸員以外）で正解できた者に、なぜわかったのか聞いたところ、「水」という字を含んだ熟語（商品名？お店の名前？）を見た記憶があったそうです。 包装紙・ラベル・のれん・看板など、くずし字が書かれたものは意外と多いので、それらを見た時に、熟語全体の形をぼんやりと記憶しておく、見覚えがあるくずし字に出会うことがあるかも知れません。
9	香水香油	2文字目と第8問の写真、3文字目と1文字目は、それぞれ同じ漢字です。同じ字に思えないかも知れませんが、例えば「水」の画像の上を、自分が字を書いているつもりでなぞると、筆の運び方（流れ）が同じことに気付きます。 くずし字を読み解くコツの一つが、筆の運び方（流れ）を意識することです。この字は何だろう？と悩んだら、メモ用紙などに、その字をまねて字を書いてみると良いでしょう。
10	小間物	「門」（もんがまえ）と「日」のバランスが、現代の「間」と違うので、「間」が、「留」や「骨」など別な字に見えたかも知れません。 「間」のくずし方には、現代と同じく「門」が大きい場合も小さい場合もあります。そのくずし字に含まれている要素が何か？（例えば、門+日=間）と、字を分解して考えると、字の候補が浮かんでくることがあるはずです。

郷土資料館の学芸員からのメッセージ

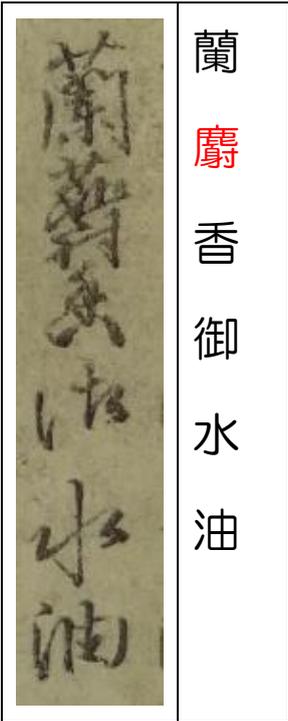
「Web で古文書講座」に取り組んでいただき、ありがとうございます。みなさまと同じ空間で古文書を読みたいと思っているのですが、画面越しでしか古文書講座をできない状況は、まだ続きそうです。

また、郷土資料館に、これまでの動画とテキストに対する感想を寄せてくださったみなさまにも、御礼申し上げます。今回のテストには、みなさまの反応を受けて考えた内容を盛り込んでいます（第5問など）。

ところで、第2回「紫檀飾棚の中に！」では、筆写（古文書の字を現代の文字で書写すること）の際に、判読が難しい字を「カ」で表現することを紹介しました。その難読文字である右の写真の2文字目を、「麿（じゃ）」ではないかと思うがどうだろうかという、市民の方からの反応もありました。

とても驚いたので、どのようにして「麿」ではないかと考えついたのか、思考の過程を伺ったところ、ご子息（中学生）にせがまれて見学した大河ドラマに関する展示施設や、ご自身で見た博物館展示で、香木の「蘭奢待（らんじゃたい）」や「麝香（じゃこう）の間」などを記憶していたので、「奢」「麝」などをくずし字の辞典で確認し、後者のくずし字だと思ったそうです。

小説やドラマ、あるいはゲームなどが、新たなテーマに関心を持つきっかけになることもあります。まだ、くずし字が書かれた古文書に苦手意識がある方は、まずは、歴史や船橋に関する親しみやすい媒体で「基礎体力」を付けてください。そのうち、くずし字や古文書が少し読みやすくなったと思う時が来るはずです。



蘭
麝
香
御
水
油

【参考】第9問・第10問の写真の資料

